



現状と課題

学年(第4学年・第5学年)

- ▲基礎的・基本的な学習内容
- ▲学習意欲や自己肯定感の低さ

対象児童

- ▲基本的な生活習慣
- ▲基礎的な学習内容



現状と課題をもとにした仮説

基礎・基本の習熟を図り、指導・学習形態の工夫や個に応じた指導を行えば、学習の価値を実感することで意欲が向上し、学習内容や学び方が定着するだろう。

指導・学習形態の工夫

- 〇〇スタンダード
- 生活・学習ガイド
- E タイム
- TT指導・周知個別学習
- スクールタクトでの協働学習
- まなびのお話

組織づくり

- 〇〇市町村小中一貫教育との接続
- 加配教員による指導・支援の充実
- ICTの効果的な活用
- 非認知能力の育成

個に応じた指導

- はばたきファイル
- 夢サポート
- 休み時間の個別補修
- eライブラリの個別学習
- 家庭学習強化週間
- ヒントカード

事業実施報告

【通年】Eタイム基礎・基本

【通年】TT・少人数指導

令和5年度

5月11日 スクラム会議

8月22日 スクラム会議

9月7日 県学調分析

11月1日 訪問授業

仮説をもとにした取組内容

① 加配教員がT1の授業

担任の児童理解に立った指導&加配教員の専門的指導

T2:担任

- ★机間指導
 - ★補助発問
 - ★対象児童への支援
 - 時間をかけた支援
- 児童理解に基づいた指導と支援



T1:加配教員

- ★授業計画作成
 - ★教材作成
 - ★全体指導
 - T2のときに感じた課題解決に努めた。
- 専門性を生かした指導と支援

② 休み時間の個別補習

授業の中で…

この単元では、〇〇の部分で理解が不十分な子がいるな…



児童の観察から生まれた取り組み

加配教員ならではの学年横断的指導

たてる…かける…ひく…おろす…



そうそう、〇〇さん、できるようになったね!

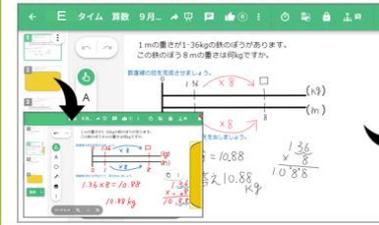


③ Eタイム基礎・基本

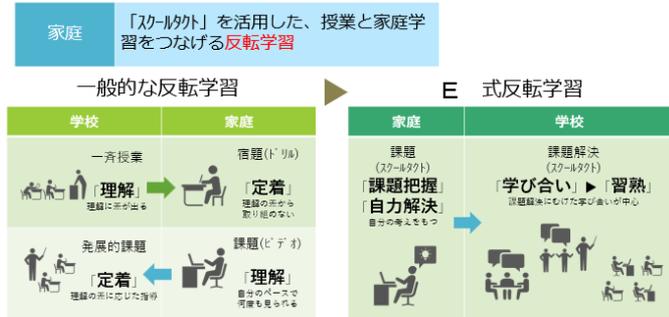
朝学習「E タイム基礎・基本」

県学調の分析から組織的に取り組みを改善

④ 図と式を関連付けて解く問題



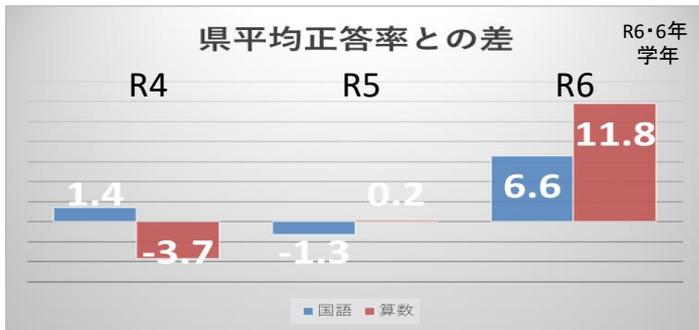
④ E小式反転学習





成果

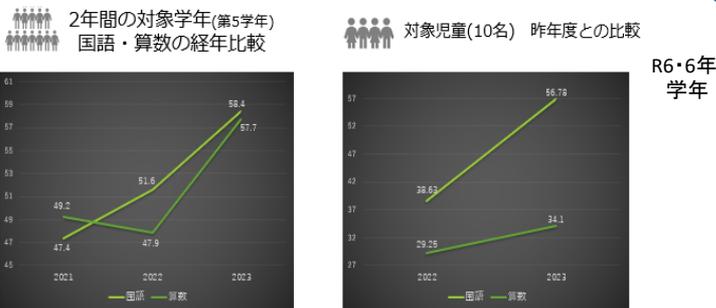
成果①県正答率との差



成果② ICT 活用の促進



成果③TK式学力テスト



成果④対象児童の自己効力感の向上



課題及び今後に向けて

様々な仕組みも有用だが... 学力向上加配 2名

教育を支えるのは、人。 持続可能で効果的な学力向上策で...

スクラム加配教員の働きで、様々な実践を積み重ねることができた。

本年度以降も、持続可能で効果的な学力向上策を追求する。

ICT を活用した授業

授業内 「スクラ外」を活用した協働学習 「Eイブ列」を活用した個別学習

考える・深める 「スクラ外」を活用した協働学習

- ★自力解決
- ★情報収集
- ★即時共有
- ★考えの再構築

個人 ↔ 集団

授業改善

まとめる 「Eイブ列」を活用した個別学習

学習履歴が自動で記録されるドリル学習

一人一人の教育的ニーズや学習状況に応じた個別学習

